

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 勝山市立成器南小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 911-0804  
福井県 勝山市 元町3丁目3-1-38

E-mail : minamisyo@edu.city.katsuyama.fukui.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 173名 女子 167名 合計 340名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

##### 1年生 「ひとつぶのたねから」 「たのしもう あき」 「もうすぐ2年生」

###### ○「ひとつぶのたねから」いろいろな花の栽培

- ・一人一鉢、朝顔の種をまき、世話を続けて、種とりまで観察を続けた。
- ・花壇で、ひまわり・ふうせんかずら・オクラ・おじぎそう・ほうせんかの栽培をした。
- ・6種類の花を育てて発見したこと（花や種のでき方やそれぞれの違い、生長の様子など）を、歌や劇、クイズを交えて、南の子発表会で発表した。



###### ○「たのしもう あき」秋を使った遊び

- ・公園や校庭で、木の実やすてきな落ち葉などを見つけた。
- ・どんぐりを使って、こまやマラカス、けん玉、ドングリ迷路などを作って、みんなで楽しんだ。
- ・木の実や落ち葉を組み合わせながら、造形遊びをしたり、しおりを作ったりした。



###### ○「もうすぐ2年生」園児との交流会

- ・冬でも楽しめる「すごろく」を、グループで工夫して作った。
- ・新しい1年生の体験入学時に、作った「すごろく」を使って、園児にも楽しんでもらった。
- ・秋に作ったしおりを、園児にプレゼントした。



##### 2年生 「生き物ランド」「めざせ！やさいマスター」「うごくおもちゃのお店屋さん」

異学年交流や園児、地域の方とのつながりを重視した体験活動を実施した。

###### ○「生き物ランド」1年生を招待

- ・淀川や校地での生き物探検の後、実際に生き物の飼育をした。飼育をするために教科書や図鑑なども活用し、飼育方法などを調べ図表にまとめた。さらに、1年生に発表し体験してもらうことで、コミュニケーションの育成も図った。

###### ○「めざせ！やさいマスター」すみれグループさんと野菜の栽培

- ・栽培している野菜の種類と栽培方法を聞いて、育てたい野菜を決め、育て方を教えてもらった。
- ・ジャガイモ、サトイモの植え付けや収穫を体験させてもらい、自分たちで調理し味わった。そのことを、「南の子発表会」で披露した。

###### ○「うごくおもちゃのお店屋さん」園児との交流会

- ・「動くおもちゃ」を作ることを目的に取り組んだ。さらに、「保幼小連携」の取り組みに生

1年生にカニのことを紹介



すみれグループさんの畑で



園児と射的



### 3年生 「勝山のふしぎ発見！」

○自分たちの住んでいる町をめぐり、勝山のふしぎを見つけた。〈繭から糸を紡いでいる〉・町探検に行った。

①弁天方面：サンプラザ前まで直進し、弁天の桜ロードを歩いた。かぶと虫公園に立ち寄った。

②南部公園方面：ゲンキのお店の横を通過し、大通り 157 号線沿いを歩いた。勝山ニューホテル手前で左折。きのこ公園に立ち寄った。

②若猪野方面：若猪野のハウスが立ち並ぶ畑の前を通り集荷センター横の公園に立ち寄った。新鮮館の前を通り帰校。



〈化石発掘体験をしている〉



・「浄土寺川のホタルを守る会」会長を講師に招きホタルの話聞いた。

・「ゆめおーれ勝山」にて、勝山で栄えた繊維産業や蚕についての話を聞き、糸紡ぎ体験やコースター作りをした。

○野外恐竜博物館にて発掘現場の見学と化石発掘体験を行った。

○左義長祭り実行委員の方を学校に招き、左義長祭りの歴史について話を聞き、左義長ばやし踊りや太鼓の演奏法などを指導していただいた。

○勝山のふしぎから良さを見つけ発信した。

・南の子発表会で、不思議に思った勝山の特徴について考えたり体験したりしたことを分かりやすく伝えた。

・6年生を送る会で、成器南小学校オリジナルの左義長祭りを披露した。

### 4年生 「わたしたちにできるボランティア」

○福祉とは何か知る。

・勝山に住む人みんなが住みやすい町について考える。

・市立図書館や学校図書室などの本で調べた。

・社会福祉協議会の方のお話を聞いた。

・ユニバーサルデザインについて学んだ。

○福祉体験・交流をする。

・目かくしをして、介助役の人と廊下を歩行、階段の登りをした。

その時に、白杖や点字ブロックの良さも確かめた。

・シルバー体験をして、身近にいるお年寄りの大変さを学ぶ。

・ニュースポーツを行い、誰にでも簡単にできるゲームの面白さや素晴らしさを感じた。

・障がいを抱えている人の話を聞き、交流する。

・認知症について、地域包括支援センターの方から教わり、どう対応していくかを学び、家庭や地域で何ができるかを考えた。

○ボランティアを行う。

・学校内を掃除する。(グラウンドの石拾い、草取りなど)

・サンキューパーティーでボランティアの方をお招きし、福祉ボランティアの大切さを学ぶ。

・地域に住んでいる歩行が困難な方の家のゴミ出しボランティアを行った。

○学んだことをみんなに伝える。

・南の子発表会で、福祉ボランティアについて学習したり、体験したりしたことを伝えた。



〈ゴミ出しをしているところ〉





## 5年生 「赤とんぼ調査隊！」

○赤とんぼについて知る。

- ・書籍やインターネットを使って、赤とんぼについて調べ、種類や成長の仕方について知った。

○赤とんぼの調査

- ・学校のプールや近所の田んぼでヤゴを採集し、教室で飼育した。(6月上旬～7月中旬)
- ・採集した場所によって種類が違うことを観察した。
- ・学校周辺で赤とんぼを探し、マーキング活動をした。(6月下旬～7月中旬)
- ・赤とんぼの産卵の観察と双眼実体顕微鏡を用いて卵の観察をした。(10月下旬)
- ・保護者に対して赤とんぼアンケートを実施した。(10月)
- ・書籍やインターネットを使って、赤とんぼが出てくる俳句や物語を調べた。(10月)

○調査をして分かったことをまとめる。

- ・調査をして疑問に思ったことを本やインターネットで調べた。
- ・保護者対象に行ったアンケート結果から、校区における赤とんぼマップを作成した。
- ・赤とんぼを季語とする俳句を作ったり、赤とんぼが出てくるお話の紙芝居を作ったりした。

○発信

- ・まとめたことを南の子発表会で発表した。



## 6年生 「勝山の魅力をさぐろう」

○勝山の魅力について一人一人考える。

- ・「平泉寺」「恐竜博物館」「ゆめおーれ勝山」など個人でインターネットや文献を利用して調べ、まとめた。また、国語の単元ともつなげてパンフレットを書き発表した。

○テーマごとの調べ学習

- ・実際に平泉寺まほろばやゆめおーれ勝山、化石発掘地などの関係施設を訪ねて現地調査をして、それぞれの魅力に迫った。
- ・学芸員さんの説明を聞き、より一層理解を深め、自分たちが知らない魅力や伝えたいことを明確にした。

○調べて分かったことをまとめる。

- ・①化石・地層 ②平泉寺・こけ ③絹織物・ゆめおーれ勝山についてグループごとに調べて分かったことをまとめた。
- ・どんな形式で発信したらよいかを考え、クイズ形式の問題づくりや劇化をして、調べたことを分かりやすく伝える工夫をした。

○発信

- ・調べてわかったことを南の子発表会で全校に発信した。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）